

■ 2024年度 入試問題分析シート ■

名古屋大学

前期日程

科目	数学(文系)
----	--------

総括

難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

〈総論〉

例年通り大問3題, 昨年度より易しくなった.

〈特記事項・トピックス〉

理系との共通問題は出題されなかった.

微積分の問題およびベクトルなどの図形に関する問題が出題されていないので, 分野に偏りがあった.

〈合格への学習対策〉

標準的な問題を確実にこなせるようにしたい.

過去問を研究し, 考える力を養い, 計算量が多い場合も正確に答えを出せるようにしたい.

設問ごとの分析

問題番号	出題形式	範囲	分野・テーマ	特徴(内容分析・解答上のポイント)	問題レベル
1	記述	II	高次方程式	(1) 因数定理を用いる. (2) 対称式の式変形を利用する. (3) (1), (2) から p, q の連立方程式を解く.	やや易
2	記述	I, II	2次関数, 図形と方程式	(1) C の頂点が P になる. (2) C と l は P を通ることに注意する. (3) X の2次不等式を解き, t の条件を求める.	標準
3	記述	A	確率	(2)(3) 得点が0でないのは, 裏が2回出る場合である. n 回のうち, 何回目と何回目に裏が出るかを考える.	やや難

「問題レベル」は, 本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に, 問題の難易度を5段階 [難・やや難・標準・やや易・易] で判断しています。昨年対比ではありませんので, 総括の難易度(昨年比)とは連動しません。